



# かんすい

日本水環境学会関西支部ニュースレター

No. 5 (2001年9月1日発行)

— 編集・発行 —  
日本水環境学会関西支部  
— 連絡先 —  
大阪市天王寺区東上町8-34  
大阪市立環境科学研究所 芳倉太郎  
Tel: 06-6771-3187 Fax: 06-6772-0676

## 新支部体制始動(17・18期)

日本水環境学会関西支部第17期は、大阪人間科学大学 福永勲氏を支部長、摂南大学 中室克彦氏を副支部長、大阪市立環境科学研究所 芳倉太郎氏を幹事長とする新体制のもと始動いたしました。会員の皆様の運営へのご協力を御願いたします。

### 新執行部発足にあたって ~ごあいさつ~

第17・18期関西支部支部長 福永 勲 (大阪人間科学大学)

私は、このたび伝統ある日本水環境学会関西支部支部長を仰せつかりました。先輩先生方の築かれてきた支部の輝かしい歴史を壊さないように理事の先生方のご指導ご鞭撻と幹事の皆様方のご協力を得て、中室副支部長、芳倉幹事長とともにがんばりたいと思いますので、支部会員の皆様方にはどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、先ほどから申し上げております本関西支部の伝統は、17年前の昭和59年(1984)11月に静岡県から西をもって西部支部が、昨年亡くなりました渡辺先生(初代支部長、本会名誉会員)の指導で結成された時に始まりました。それ以来、平成元年(1989)に2府4県を対象に関西支部として再発足し、大学、地方自治体研究所の先生、研究者が仲良く双方が盛り上がるようにとの理念を持ち続けながら、講演会、見学会、講習会などをエネルギーに開催して参りました。小生もほぼ当初から支部に何かとお世話になって参りました。

まず、これからの2年間について、「支部活動は楽しく有意義に」をモットーに、支部活動の柱としてつぎの2点を挙げたいと思います。まず、第1点は会員が業務や研究の上で互いに助け合うために会員相互の情報交換の場としての支部でありたい、第2点は水環境学会の社会的責任を果たすために、支部が社会の人々の役に立つ情報発信の窓口になることです。

そのために、理事、幹事の先生方を含めて会員が具体的にどの分野で活躍し、あるいは何が得意かをデータとして集約する必要があります。しかし、個人情報を守られなければなりませんし、それぞれの職場との関係で情報発信の責任の所在の問題など、難しい点もあり、現在幹事会の中に部会を作って研究をしていただいています。ただ、現状でも講演会、見学会などで顔を合わせて直接情報交換が可能ですから、おおいに支部行事の場にお出で頂いて情報交換をしていただきたいと思います。

社会に役立つ窓口という点についても、理事の先生のご指導もあり、出来ることから始めると言うことで、別掲のとおり本年は年会、総会とあわせて「水辺環境のルネッサンス - 循環型社会における水辺の価値と役割」という表題で市民に開かれたシンポ(11月30日)を開催することになっています。どうぞ多数の方々の参加をお願いいたします。

本年は上記の年会、総会、市民シンポの他に、見学会(阪神水道企業団尼崎浄水場、10月5日)、情報ネットワーク講演会(詳細未定)、環境文化講演会(9月19日)などを準備していただいています。

以上、新任の執行部を代表してのごあいさつを述べさせていただきました。会員の皆様方にはご意見ご要望をどんどんお寄せいただきたくお願ひいたしますと共に、あらためましてどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 2001年度 支部行事だより

### 日本水環境学会関西支部見学会のご案内

今年度の施設見学会は、都市内水循環の重要な構成要素である配管材の中から「ダクタイル鉄管」の紹介と製造過程を(株)クボタ武庫川工場で、また、平成13年4月1日から営業運転を開始した「阪神水道企業団・尼崎浄水場」を対象として、下記の要領で見学会を開催することにいたします。多数のご参加を期待しています。

【期日】2001年10月5日(金)9:45~16:30

【見学施設】(1) (株)クボタ武庫川工場(ダクタイル鉄管の紹介と製造過程) (2) 阪神水道企業団 尼崎浄水場(高度浄水施設・コジェネ・太陽電池等)

【日程】阪神尼崎駅 駅北側公園噴水(集合)9:45 車にて移動 (株)クボタ武庫川工場(昼食はここでとります) 車にて移動 阪神水道企業団尼崎浄水場(解散)16:30(徒歩10分程度でJR塚口駅または阪急塚口駅に行けます)

【参加費用】2,500円(交通費・昼食費含)ただし、昼食を持参の方は、昼食(弁当+お茶)費を除き1,000円

【申込・問合先】三浦浩之(関西大学工学部土木工学科環境システム研究室 TEL:06 6368 0939 FAX:06 6330 3770 E-mail:hmiura@kansai-u.ac.jp) または中村秀人(株)日水コン水道本部技術統括部 TEL:06 6398 1600 FAX:06 6350 5302 E-mail:nakamura\_h@nissuicon.co.jp)

【申込締切】2001年9月28日(金) E-mail又はFaxにてお申し込みください。申込の際には、参加する方の氏名、所属、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレスなど)及び、昼食の要・不要をご記入ください。定員は先着で40名を予定しております。

### 日本水環境学会関西支部第3回研究発表会・市民シンポジウム・総会のご案内

日本水環境学会関西支部第3回研究発表会、総会を以下の要領で開催します。なお、市民シンポジウム(水辺環境のルネッサンス - 循環型社会における水辺の価値と役割)も併せて行いますので、関西支部会員の多数の発表と出席を期待します。なお、発表、出席ともに会員資格を問いません。

【期日】2001年11月30日(金)

【場所】大阪工業大学創立60周年記念館(大阪市旭区大宮5 16 29、TEL06 6955 1551: JR大阪駅前より市バス34号守口車庫行、城北公園前あるいは中宮(大阪工大前)下車徒歩5分、地下鉄谷町線千林大宮下車徒歩20分)

【プログラム】1. 一般研究発表(9:30~12:30)/水環境に関わるあらゆる調査研究を対象とします。若手研究者の発表を期待しています。1演題につき15分程度。市民シンポジウムに関連して、市民の方々、水環境のNGOの方々の発表を歓迎します。2. 市民シンポジウム - 水辺環境のルネッサンス - (14:00~17:00)/下記に案内を掲載しています。3. 支部総会(17:20~18:00) 4. 懇親会(18:00~20:00)

【参加費】研究発表会参加費(講演集代含む):一般 3,000円、学生 2,000円 懇親会参加費:5,000円

発表申し込み:ハガキまたはFaxに講演演題名、講演者名、連絡先(住所、TEL、FAX)を記入し、9月28日(金)までにお申し込み下さい。原稿締切は10月26日(金)です。

【申込・問合先】山本耕司、芳倉太郎(大阪市立環境科学研究所水環境課/〒543 0026大阪市天王寺区東上町8 34 TEL:06 6771 3426(山本)・06 6771 3187(芳倉) FAX:06 6772 0676

### 日本水環境学会関西支部市民シンポジウム

#### 『水辺環境のルネッサンス - 循環型社会における水辺の価値と役割 -』の御案内

支部として第4回目の市民シンポジウムを開催することになりました。今回は都市の水辺環境の問題を扱い、当支部川部会の活動の一環として行います。環境の世紀を迎え、河川をはじめとする水辺は、都市生活に安らぎを与える自然空間、親水空間としてますます重要になっています。都市におけるこのような水辺環境の価値と役割を、多自然型や地域に密着した川づくり、処理下水の循環利用、住民参加・環境教育などを切り口にして、あらためて検証します。

【期日】2001年11月30日(金) 【場所】大阪工業大学創立60周年記念館(支部研究発表会と同じ場所)

【プログラム】

14:00~14:20 講演1:水循環と水辺の価値/村岡浩爾(大阪産大・人間環境)

14:20~14:50 講演2:原風景ヒアリングから環境再生目標像をさぐる - 西淀川・貝塚での調査から - /神吉紀世子(和歌山大・システム工)

15:00~17:00 パネルディスカッション:パネリスト/村岡浩爾(前出)、神吉紀世子(前出)、澤井健二(摂南大・工)、土谷朋子(大阪府)、白木江都子(貝塚市自然遊学館)、川上聰(川の会・名張) コーディネーター/古武家善成(兵庫県公害研)、土永恒彌(株)タツタ環境分析セ)

【問合先】古武家善成(兵庫県立公害研究所/〒654 0037神戸市須磨区行平町3 1 27 TEL:078 735 6911 FAX:078 735 7817 E-mail:kobuke@pref.hyogo.jp)

## 環境文化講演会のご案内

【主催】 大気環境学会近畿支部環境文化研究会、日本水環境学会関西支部環境文化部会、佛教大学（シティーキャンパス講座）

【期日】 2001年9月19日(水) 14:00～17:00

【場所】 佛教大学四条センター（TEL:075 231 8004 京都市営地下鉄四条駅・北東角三井ビルディング4階（阪急・烏丸駅））

【プログラム】 コーディネーター：溝口次夫（佛教大学）

- ・「環境問題は文明問題 - 自然共生と東洋思想 - 」 岸根卓郎（京都大学名誉教授）
- ・「循環の思想、 - 人文科学から環境へのアプローチ - 」 岡田真美子（姫路工業大学教授）

【水環境学会関係の申し込み先】 芳倉太郎（大阪市立環境科学研究所水環境課 / 〒543 0026大阪市天王寺区東上町8 34 FAX:06 6772 0676 E-mail:yoshikura@oct.zaq.ne.jp）

かんさい“水”めぐり

### 天の橋立『磯清水』について

神戸市水道局 矢野 洋

日本三景の天の橋立（京都府宮津市）の砂嘴に、平安の古に和泉式部が「橋立の松の下なる磯清水 都なりせば君も汲ままし」と詠み、環境省の名水百選にも指定された有名な「磯清水」がある。磯清水は宮津湾と阿蘇海を区切るように幅20～170mの細長く延びた砂州の宮津市側の比較的幅広くなった林の中にある。本年5月28日に訪れる機会を得て、水質検査の結果、塩素イオン12.9mg/l、電気伝導率115μs/cm、カルシウム6.4mg/l、マグネシウム2.4mg/lと、それぞれ真

水であることを示していた。なお、色度は7度、濁度は0.7度、過マンガン酸カリウム消費量4.8mg/lと、水温も高く浅井戸であることもあり、一般的な水道水等と比べ若干高い値を示していた。しかしながら、松が約8千本も茂る砂嘴の井戸の端に立つと、真水と海水の比重のバランスで地下水脈が形成されていることは理解できるが、古今の人々同様、不思議な思いに耽らされた。



天の橋立（笠松公園より宮津市方面を望む）



磯清水（環境省名水百選 釣瓶井戸）

## 内分泌攪乱化学物質部会報告 『環境ホルモンの基礎と最前線』編集・執筆中

かんすい 4（2001/3/1）でご紹介しましたように、2000年2月に主催しました支部講演会「内分泌攪乱化学物質問題の最前線」を受けて、この問題に関する一般向け書籍の出版計画を進めています。タイトルは『環境ホルモンの基礎と最前線 - 水環境を中心にして - 』であり、来年5月に技報堂出版からの刊行を予定しています。内容としては、この問題の歴史から始まり、各種の国際会議での定義の紹介や種類の一覧の後、環境ホルモンの作用メカニズムや魚類・野生生物・ヒトへの影響の問題が展開されます。続いて、水環境汚染の実態が示され、ヒトへのリスクの問題や検知・分析法も記述されます。最後に、この問題解決への展望を探るとともに、この問題に関する各種情報源（学会、一般書籍、インターネットなど）を紹介しています。このように、環境ホルモン問題全体をカバーするように内容を企画しましたが、価格を押さえるためにページ数を250ページ程度にせざるを得ませんでした。しかし、この本のキャッチフレーズは、「記述は平易に、情報は最新のものを」ですので、スペースの関係で本文中に載せられない重要な図表を全て掲載したCD-ROMを、資料集として添付することにしました。この問題を扱った国内の一般書籍は60～70種ほど出版されていますが、専門家の読書に耐える内容を持った本は非常に少ないのが現状です。私たちの本は一般市民にも専門家にも役立つものを目指しており、執筆中、中室部会長はじめ部会員が担当する以外に、この分野の第一線の研究者にもお願いしています。

（兵庫県立公害研究所 古武家善成）

## 2001年度関西支部役員名簿

名誉支部長：(株)岩井重久

顧問：合田 健 京都大学名誉教授  名誉理事：河合 章 元近畿大学教授 北川 睦夫 活性炭技術研究会 駒井 豊 元大阪府立大学教授 園 欣弥 元兵庫県立工業技術センター	宇野 源太 元大阪工業大学教授  川島 晋 大阪工業大学名誉教授 北村 弘行 元(株)瀬戸内海環境保全協会 佐谷戸安好 元摂南大学学長 永井 迪夫 元大阪府工害監視センター
---	---

支部長・理事：福永 勲 大阪人間科学大学	副支部長・理事：中室 克彦 摂南大学薬学部
----------------------	-----------------------

理事：天野 耕二 立命館大学理工学部 石川 宗孝 大阪工業大学工学部 今井 俊介 奈良県衛生研究所 海老瀬潜一 摂南大学工学部 小田 國雄 大阪薫英女子短期大学 金子 光美 摂南大学工学部 國松 孝男 滋賀県立大学環境科学部 菅原 正孝 大阪産業大学人間環境学部 宗宮 功 京都大学大学院工学研究科 津野 洋 京都大学大学院工学研究科 中島 淳 立命館大学理工学部 中本 雅雄 元大阪府工害監視センター 藤田 正憲 大阪大学大学院工学研究科 松井 三郎 京都大学大学院工学研究科 盛岡 通 大阪大学大学院工学研究科 矢野 洋 神戸市水道局水質試験所 山中 芳夫 大阪学院大学経営科学部	大畑 雅洋 和歌山県衛生公害研究センター 井上 頼輝 福井工業大学工学部 鶴川 昌弘 大阪府立公衆衛生研究所 奥野 年秀 (株)ひょうご環境創造協会 川村 隆 兵庫県立公害研究所 川合真一郎 神戸女学院大学人間科学部 古武家善成 兵庫県立公害研究所 杉田 隆博 大阪市立環境科学研究所 土永 恒彌 (株)タツタ環境分析センター 寺島 泰 大阪産業大学人間環境学部 中村 正久 滋賀県琵琶湖研究所 平田 健正 和歌山大学システム工学部 前田 知穂 京都府保健環境研究所 村岡 浩爾 大阪産業大学人間環境学部 森澤 眞輔 京都大学大学院工学研究科 山田 淳 立命館大学理工学部 和田 安彦 関西大学工学部
--	--

監事：東 国茂 産業技術総合研究所	塩山 昌彦 (株)クボタ環境研究部
-------------------	-------------------

幹事長：芳倉 太郎 大阪市立環境科学研究所

幹事：天野 耕二 立命館大学理工学部 井伊 博行 和歌山大学システム工学部 上田 彬博 京都府保健環境研究所 海老瀬潜一 摂南大学工学部 笠原 伸介 大阪工業大学工学部 貫上 佳則 大阪市立大学工学部 古武家善成 兵庫県立公害研究所 笠 文彦 龍谷大学理工学部 高原 信幸 神戸市環境保健研究所 中島 元生 (株)ひょうご環境創造協会 中野 武 兵庫県立公害研究所 服部 幸和 大阪府公害監視センター 森 一英 (株)クリアス本社設計部 山田 春美 京都大学大学院工学研究科 山村 優 寝屋川南部広域下水道組合 米田 稔 京都大学大学院工学研究科	飯田 博 (株)関西環境管理技術センター 池 道彦 大阪大学大学院工学研究科 上野 仁 摂南大学薬学部 大久保卓也 滋賀県琵琶湖研究所 門口 敬子 (株)関西環境管理技術センター 紀本 岳志 (株)環境理化学研究所 澤井 正和 (株)川崎重工業環境ビジネスセンター 須戸 幹 滋賀県立大学環境科学部 田中 英樹 兵庫県立衛生研究所 中野 一郎 (株)クボタ環境研究部 中村 秀人 (株)日水コン水道本部 三浦 浩之 関西大学工学部 矢野 洋 神戸市水道局水質試験所 山林 右二 東大阪市公害監視センター 山本 耕司 大阪市立環境科学研究所
--	---

『かんすい』では支部会員の皆様方からの寄稿をお待ちしております。支部会員からの近況、美しい水環境や興味ある処理施設のご紹介や写真、海外体験記など、関西支部宛てお送り下さい。

### シリーズ『日本の水環境』全7巻完結 会員特別価格で販売中

(社)日本水環境学会の7つの地方支部のメンバーが通信となり、それぞれの地域の水環境の姿を余すところなく描きあげた『日本の水環境』シリーズ(技報堂出版)が完結し、本文中に収めきれなかった資料をデジタル化したCD-ROM付で頒布されています。12月20日までは会員特別価格(全7巻セット33,000円、定価に比べて約15%お得)での販売も行われていますので、ぜひお買い求め下さい。詳しくは(社)水環境学会まで(TEL:03 3632 5351、FAX:03 3632 5352)。